

事務事業名		Y・Sセンター等維持管理事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業	
政策体系	政策名	02 安心が確保されたまちづくりの推進		事業期間		予算科目	
	施策名	06 ともに支え合う地域づくりの推進		<input type="checkbox"/> 単年度のみ		会計	款
	基本事業名	04 相互支援の啓発と普及		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)		01	03
根拠法令				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		01	01
所属	部課名	保健福祉部地域福祉課		事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備	
	課長名	藤原 秀樹		C 施設管理 D 補助金等		E 一般(1～4以外)	
	係名	福祉推進係	電話	0192-27-3111			
	担当者	菊地 正展	内線	139			
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)			
大船渡市Y・Sセンターは、児童から高齢者まであらゆる世代間の交流による学習、伝承、余暇活動、相互理解等の場を提供するため、活力とうるおいの丘リアスパークのあるまちづくり事業により整備した施設である。当該施設は、平成18年度から大船渡市社会福祉協議会に指定管理委託しており、事業費は、当該委託料のほか、修繕・更新等に係る費用である。				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金	
					財源内訳	都道府県支出金	
						地方債	
						その他	
						一般財源	
						事業費計(A)	0
				人件費	正規職員従事人数		
					延べ業務時間		
					人件費計(B)	0	
					トータルコスト(A)+(B)	0	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
施設利用者への使用手続き、使用料の徴収、各種講座の開催、施設管理		ア	開館日数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同じ		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
大船渡市Y・Sセンター及び利用者		名称	
		単位	
		カ	大船渡市Y・Sセンター施設面積
		キ	m ²
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
大船渡市Y・Sセンターを適切に管理運営してもらう。		名称	
大船渡市Y・Sセンターの施設、附帯設備を利用し、健康増進や学習・文化の向上を図ってもらう。		単位	
		サ	施設不具合修繕件数
		シ	Y・Sセンターの収支比率(収入額/支出額)
		ス	Y・Sセンター利用者数
			件
			%
			人

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費	単位							
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500
	事業費計(A)		千円	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500	34,500
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	10	10	10	10	10	10
		人件費計(B)	千円	40	40	40	40	40	40
トータルコスト(A)+(B)		千円	34,540	34,540	34,540	34,540	34,540	34,540	
⑤ 活動指標		ア	日	229	249				
		イ							
		ウ							
⑥ 対象指標		カ	m ²	47,500	47,500	47,500	47,500	47,500	
		キ							
		ク							
⑦ 成果指標		サ	件	11	8	5	5	5	
		シ	%	12.0	14.5				
		ス	人	23,331	28,819	40,000	40,000	40,000	40,000

事務事業ID	0157	事務事業名	Y・Sセンター等維持管理事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	活力とうるおいの丘リアスパークのあるまちづくり事業により、あらゆる世代のための生きがいや健康づくりなどの拠点施設として平成3年度に建設した大船渡市Y・Sセンターの管理運営を行うため。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成4年4月の開設当初は、室内温水プールはもの珍しさもあり利用者数も多かったが、開設以来、年々利用者数は減少傾向にあった。震災後は、市内で屋内温水プールが1箇所となったことや、低額で入浴施設が利用できたことから、利用者は震災前より増加した。現在は市内の民間のプール施設が復旧したことからプール利用者は徐々に減少しているものの、年間を通じて水泳による健康づくりや水泳教室など高齢者や障害者等を対象に行われており、その役割は大きい。なお、施設が老朽化しており、修繕箇所が増加している。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	低額で入浴施設が利用できることが利用者から喜ばれている。修繕箇所が増加していることから、計画的に修繕を進める必要がある。利用者から、トレーニング設備の更新に対する要望や、駐車場の少ないとの苦情が寄せられている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】	あらゆる世代のための生きがいや健康づくりなどの拠点として整備された施設を管理運営することは、地域福祉の充実に結びつく。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】	市民の福祉向上のため必要不可欠な施設として、市が設置した施設であるため。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】	委託先である(社福)大船渡市社会福祉協議会の運営は、適正に行われている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】	利用を増やすためには、交通の利便性や駐車場の拡大及びトレーニング設備の更新を図る必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】	他に、低額で利用できる室内温水プールはなく、年間を通じて、水泳による健康づくり教室や水泳教室をする公営の施設が市内にはないため。そのほか入浴施設やトレーニング施設など低額で利用できていることから、廃止や休止した場合の影響は大きい。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	大船渡市社会福祉協議会の運営は適正に処理されており、委託料を削減することはできない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】	委託業務のみのため、所要時間はかからない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】	施設の利用料の見直しを、定期的に行う必要がある。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																						
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止		左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 これまでも、適切な管理・運営が行われている。引き続き、施設の利用促進を図るとともに、公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき施設の老朽化への対応を行う。また、必要に応じて利用料の見直しについて検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	温水プールやトレーニングマシン等設備の老朽化などの理由により年々利用者の減少がみられ、施設の維持管理費の一部を利用料収入で賄う現在の仕様は将来的に見直す必要がある。施設の利用者を増やす取り組みを行いながら、施設の長寿命化に向け公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、施設・設備の計画的な修繕・更新等を行う必要がある。